

### 小豆の茎腐細菌病（病原菌の同定）

*Pseudomonas* sp. とされていた本病の病原細菌について、平成 19 年および 21 年に分離した菌株が所属する分類学的位置の検討を行った。分離細菌はハウスキーピング遺伝子の塩基配列に基づいた系統解析により、ダイズ斑点細菌病の病原細菌である *P. savastanoi* pv. *glycinea* と遺伝的に近縁であることが示唆された。両者は *P. syringae* 群細菌の *hrp* group 1A に所属するが、rep-PCR のバンドパターンに差異があり遺伝的に異なった。さらに、小豆および大豆に対する病原性がそれぞれ異なることから、分離細菌は *P. syringae* 群細菌の新しい病原型とするべきであると結論した。以上のことから、小豆の茎腐細菌病の病原細菌を *P. amygdali* pv. *adzukicola* pv. nov. Todai, Takahashi, Yasuoka, Sato, Abe, Takikawa & Kondo と命名した。

（十勝農試・静岡大学）



小豆の茎腐細菌病（十勝農試 東岱 原図）